

課題名：リンドウの高温耐性系統及び母本の選抜（令8～10）

内容：岡山県のリンドウ栽培面積は西日本で最も大きく、主に夏季冷涼な県中北部の高標高地（標高 200m 以上）に産地があります。しかし、近年は夏季の高温化や、既存産地より高温となる市街地近郊の低標高地での栽培希望者の増加を背景に、高温耐性品種の育成が求められています。そこで、低標高地（標高 23m）で高温耐性の検定を行い、高温耐性F₁系統及びそれが得られる母本の選抜を行います。

(1) 既存有望F₁系統の高温耐性の検定



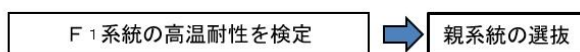
代表的な高温障害（左：白斑症、右：葉焼け）

- 切り花品質調査
- 高温障害発生程度調査

(2) 有望親系統の選抜

花粉親 種子親	A	B	C
A		AB 高温耐性 △	AC 高温耐性 ×
B	BA 高温耐性 △		BC 高温耐性 ○
C	CA 高温耐性 ×	CB 高温耐性 ○	

A 高温耐性 ×
B 高温耐性 ○
C 高温耐性 △



[野菜花研究室HPへ](#)
[農業研究所HPへ](#)